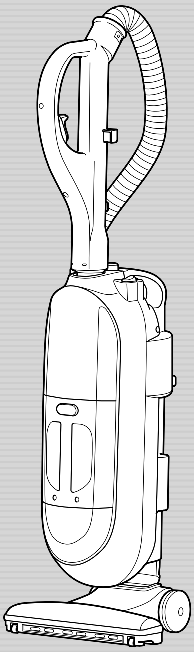
# 取扱説明書

保証書付き
保証書は裏表紙に付いています。

HITACHI
Inspire the Next

# 日立電気掃除機

型式
# PV-SP3



ごみダッシュ

スティック
ごみダッシュサイクロン

このたびは日立電気掃除機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

**この掃除機は家庭用です。業務用や掃除以外の目的にはご使用にならないでください。**

**ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。**

お読みになったあとは、保証書とともに大切に保存してください。

「安全上のご注意」 → P.4~5 をお読みいただき、正しくご使用ください。

## もくじ

### ご使用の前に



### 使いかた

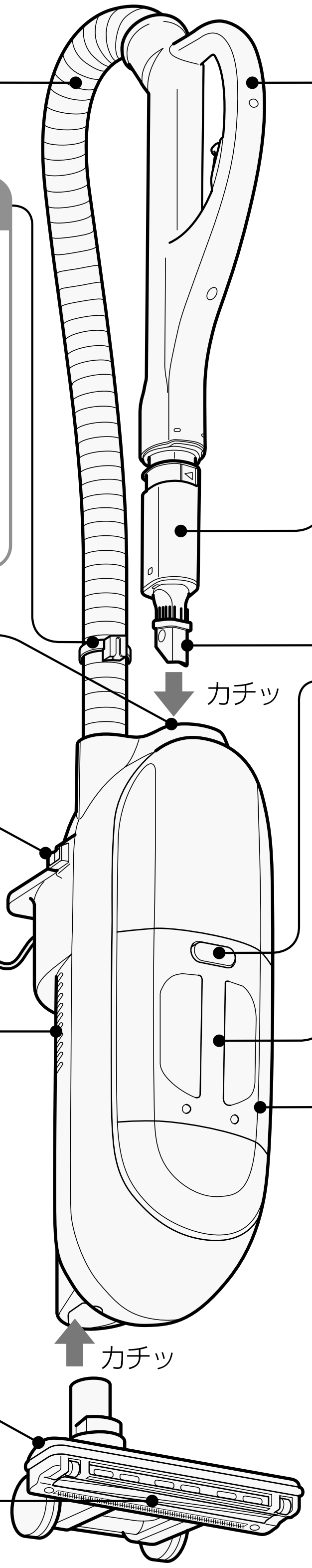


### お掃除が終わったら



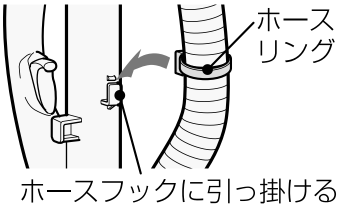
### こんなときは

# 各部のなまえと組み立てかた



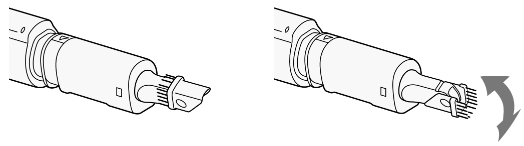

## ホースリング

●ホースリングを利用すればホースをすっきり収納できます。




## クルッと切替えブラシ ➔P.8

●回転させてハケブラシとしても使えます。



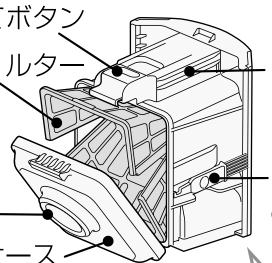
## ダストケース取り外しハンドル ➔P.9

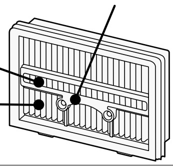
●本体から取り外すときにつかみます。

### ⚠注意

●本体の持ち運びには使用しないでください。本体が落下してけがをしたり、ゆかを傷つけることがあります。

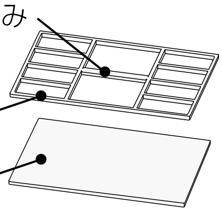
## ダストケース ➔P.9〜12

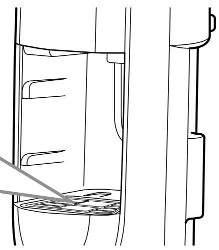



## フィルター ➔P.12

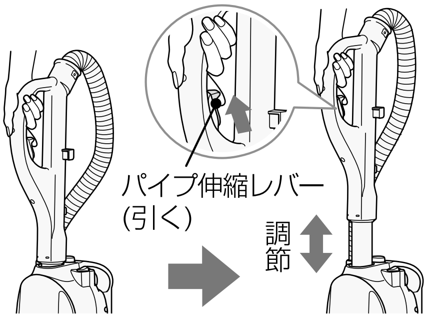
●フィルターカバーつまみを持ち、フィルターカバーをまっすぐ上に引っ張ると、フィルターを取り外しできます。



## パイプ伸縮レバー

●グリップハンドルの高さを調節できます。(サッとズームパイプ)

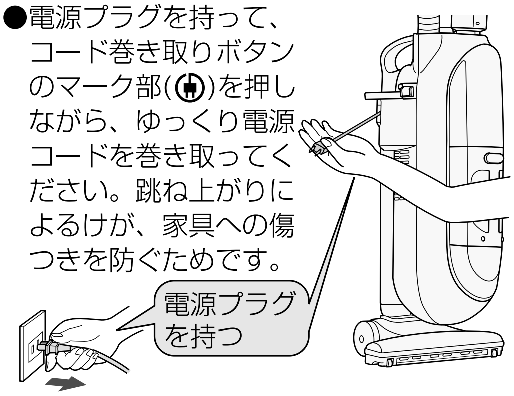



### ⚠注意

●伸縮パイプと本体の間に手などを入れないでください。けがをすることがあります。

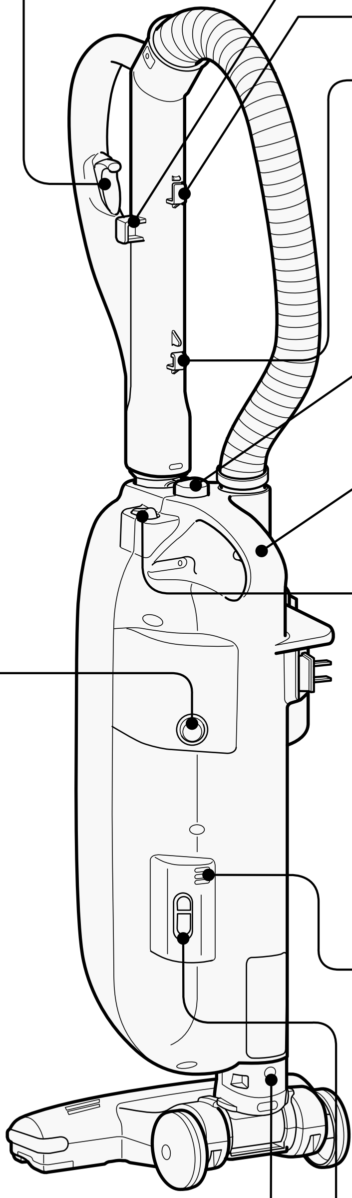
## コード巻き取りボタン

●電源プラグを持って、コード巻き取りボタンのマーク部(⏻)を押しながら、ゆっくり電源コードを巻き取ってください。跳ね上がりによるけが、家具への傷つきを防ぐためです。




**お願い**

●電源プラグを持たず、急に電源コードを巻き取ると、電源コードが絡まり、引き出せなくなることがあります。

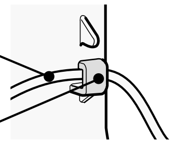


## グリップフック ➔P.8

## ホースフック ➔P.2

## コードフック

●お掃除のとき、電源コードが足にまとわりつくのを防ぎます。



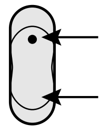

## パイプ取り外しボタン

●伸縮パイプを本体から取り外すときに押します。

## 本体ハンドル

●本体を持ち運ぶときに使います。

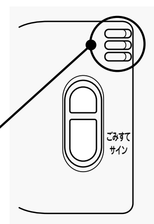
## 運転スイッチ




●運転するときは、• 印の方向を押します。
●電源プラグを差し込むときは、(切)の状態にしてください。

## モーター保護用吸気口

●運転中にモーター保護用吸気口をふさがないでください。



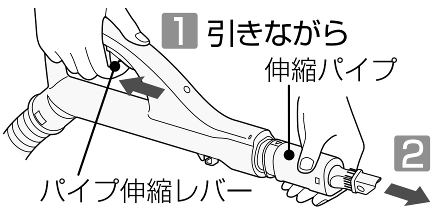

## エアーヘッド取り外しボタン

## ごみすてサイン ➔P.11

## 伸縮パイプの伸ばしかた(縮めかた)

### グリップハンドル側

1 パイプ伸縮レバーを引きながら
2 伸縮パイプを引っ張る




3 縮めるときは、伸縮レバーを引きながら伸縮パイプを持って押し込む

### クルッと切替えブラシ側

1 スライドつまみを矢印の方向へスライドさせながら
2 クルッと切替えブラシを引っ張る




3 縮めるときは、スライドつまみをスライドさせながらクルッと切替えブラシを持って押し込む

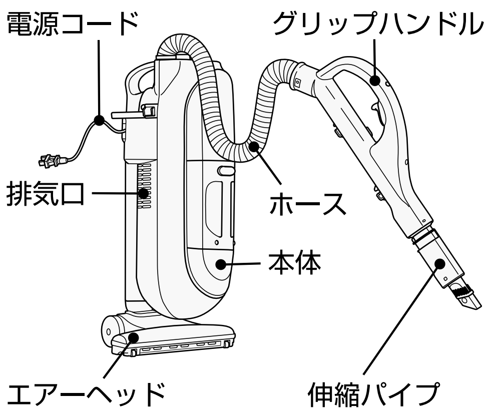
# 安全上のご注意 必ずお守りください

ご使用になる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

■表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

| | |
|---|---|
| ⚠ 警告 | この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。 |
| ⚠ 注意 | この表示の欄は、「軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。 |

| 絵表示の説明 | |
|---|---|
| ⚠ | 「警告や注意を促す」内容のものです。 |
| ⊘ | してはいけない「禁止」内容のものです。 |
| ● | 必ず実行していただく「指示」内容のものです。 |




## ⚠ 警告

### 異常・故障時には直ちに使用を中止する

・スイッチを押しても、運転しない
・電源プラグやコードを動かすと、通電したりしなかったりする
・運転中、時々止まる
・運転中、異常な音がする
・本体が変形したり、異常に熱い
・ホースが破れている
・こげくさい“におい”がする
・その他の異常がある

**発煙・発火・感電のおそれがあります。すぐにスイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店へ点検・修理を依頼してください。**

**●火災・感電・けがを防ぐために**

### 電源(コンセント・プラグ・コード)

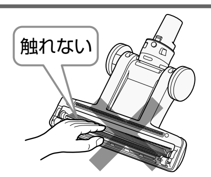
**●定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う**
**●電源プラグは根元まで確実に差し込む**
**●ごみ捨てやお手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く**
**●電源プラグのほこりなどは定期的に乾いた布でふき取る**

**●電源コードを傷つけない**
（傷つけ・加工・無理な曲げ・引っ張り・ねじり・重いものを載せる・挟み込むなどしない）
**●傷んだ電源コードや電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しない**
**●電源コードを回転ブラシに巻き込まない**
**●ぬれた手で抜き差ししない**

火災・感電の原因となります。

### エアーヘッド(吸込口)

**●回転ブラシには触れない**
特にお子さまにはご注意ください。



## ⚠ 警告

### そのほか

**●引火性のもの、可燃物、火気のあるものの近くで使用しない、吸わせない〔灯油、ガソリン、シンナー、ベンジン、トナー、可燃性ガス(スプレー)、たばこの吸い殻など〕**
**●押しピン、針、つまようじ、じゅうたん洗浄剤などの泡のようなものを吸わせない**
**●改造はしない。修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない**
**●水洗いをしたり風呂場で使用しない(水洗いできる部品は除く)**
爆発・火災・感電・けがの原因となります。




## ⚠ 注意

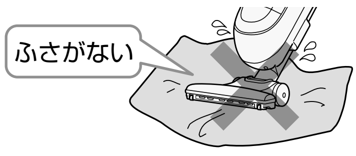
**●発火・ショート(短絡)・けがを防ぐために**

### 電源(コンセント・プラグ・コード)

**●使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く**
絶縁劣化による感電や発火の原因となります。
**●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、先端の電源プラグを持って引き抜く**
電源コードが傷つき、ショート(短絡)して感電や発火することがあります。
**●電源コードを巻き取るときは電源プラグを持つ**
電源プラグが当たってけがをすることがあります。

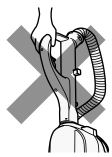
### エアーヘッド(吸込口)

**●吸込口をふさいで長時間運転しない**
過熱による本体の変形・発火の原因となります。



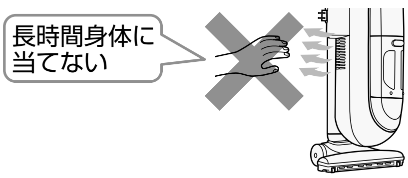

### グリップハンドル

**●グリップハンドルを持って運ばない**
本体が落下してけがをしたり、ゆか面を傷つけることがあります



### 排気口

**●排気口をふさがない**
過熱による本体の変形・発火の原因となります。
**●排気口から出る風を、長時間身体に当てない**
低温やけどをすることがあります。



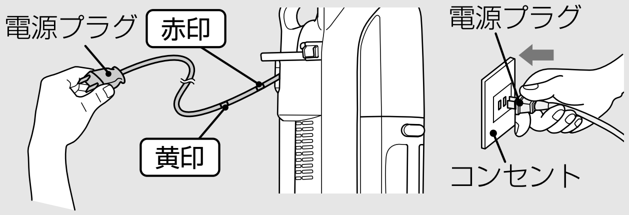

# 使用上のお願い

故障などを防ぐために、次のことをお守りください。
また、本文中の お願い 事項についてもよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

**●電源コードは赤印以上無理に引き出さない**
断線の原因となります。
**●破れたり、傷ついたホースを使用しない**
故障の原因となります。
**●持ち運びするときは、ホースを持ってぶら下げない**
ホースの破損の原因となります。
**●本体に乗らない**
故障の原因となります。
**●次のようなものは吸わせない**
異臭や故障の原因となります。
・水や液体　・湿ったもの　・吸湿剤(湿気取り)
・多量の砂や粉　・長いひも　・ガラス
・押しピン　・針　・つまようじ
**●水洗いした部品は十分に自然乾燥させる**
異臭や故障の原因となります。

# お掃除のしかた

## 1 電源プラグをコンセントに差し込む




**⚠ 警告**

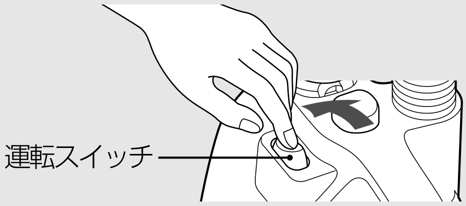
**火災のおそれあり**
**定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う**

●延長コードを使用したり、ほかの家電製品と同一のコンセントをご使用にならないでください。

**お願い**

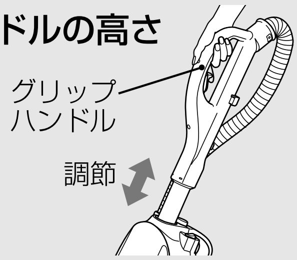
●電源コードは赤印以上引き出さないでください。断線の原因となります。

## 2 運転スイッチを押す



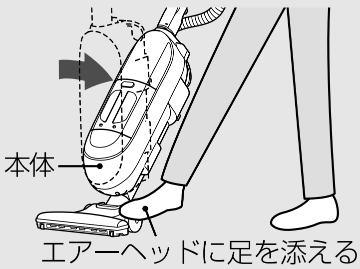

## 3 グリップハンドルの高さを調節する

➔ P.3

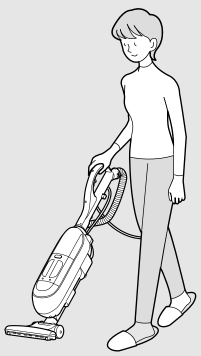



## 4 本体を傾ける

●本体を立てたままで運転すると、シューと音がします。異常ではありませんがエアーヘッドの吸引力は低下します。




## 5 ゆか面の種類に応じてエアーヘッドを動かす



**じゅうたん**
**前後に動かしてお掃除します。引くときにごみがよく取れます。**
●初めてお掃除するじゅうたんの場合、あそび毛がたくさん取れることがあります。

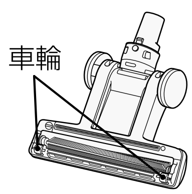
**たたみ**
**たたみの傷つき防止のため、たたみの目にそって動かします。**

**ゆか**
**ゆかの傷つき防止のため、木の合わせ目にそって動かします。**

**⚠ 注意**

**ゆか面に傷をつけるおそれあり**

●特にひのきやクッションフロア※などのやわらかいゆかの場合、エアーヘッドをゆか面に強く押し付けないでください。
●車輪にごみが絡みつくと、車輪が磨耗する原因となります。
定期的にお手入れしてください。➔ P.13
●車輪が磨耗しているときは、お早めにお買い上げの販売店にご相談ください。
➔ P.16




※クッションフロアとは、表面に塩化ビニルなどを用いたクッション性のあるゆか材のことです。

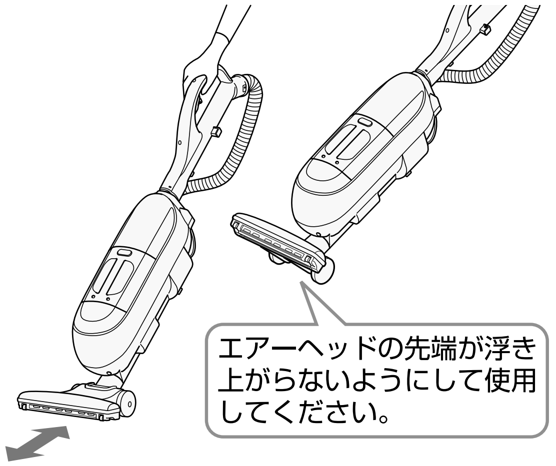
**お願い** ●じゅうたんの種類によっては、エアーヘッドが動かしにくい場合があります。その場合は、本体を寝かせぎみにして操作してください。また、じゅうたんの毛並みにそって操作してください。

# エアーヘッドの動きについて

●回転ブラシでじゅうたんのごみを強力にかき上げ、マエ・ヨコ・ナナメ3方取り構造で、お部屋の隅々や壁際のごみもしっかり吸い取ります。
じゅうたんなどのお掃除の場合には、力を入れず、すべらせるように軽く動かしてください。
(回転ブラシの回転で効果的にごみをかき上げるためです)

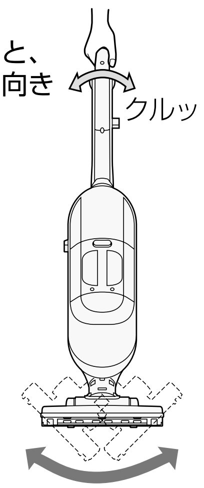


## 通常のお掃除



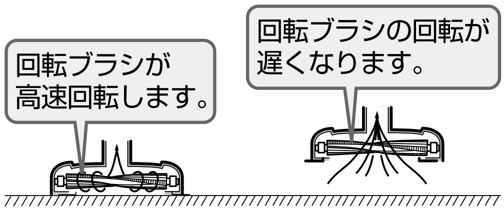

## 首振りヘッドでお掃除

●手もとをひねると、エアーヘッドの向きが変わります。




# 回転ブラシの持ち上げ停止機能について

●エアーヘッドを持ち上げたときは、静かにするため回転ブラシの回転が遅くなります。
(止まる場合もあります)




| ⚠ 警告 | **けがのおそれあり**<br>●運転中はエアーヘッドの回転ブラシに触れないでください。<br>巻き込まれるおそれがあります。特にお子さまにはご注意ください。 |
|---|---|

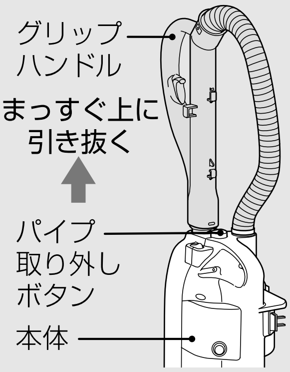
**お願い**
●じゅうたんの種類によっては、回転ブラシが回転しにくくなることがあります。
●薄いカーペットなどが吸いついて、ごみが取れにくいときは、カーペットの隅を押さえ、吸いつかないようにしてお掃除してください。
●回転ブラシはゆか・たたみ上でも回転します。

# お掃除のしかた(続き)

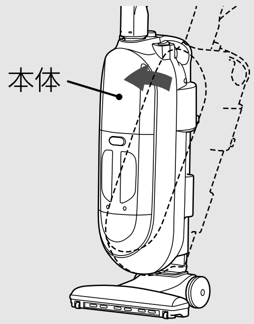
## クルッと切替えブラシ

### 1 本体から伸縮パイプを抜く

1 パイプ取り外しボタンを押しながら
2 グリップハンドルを持って、まっすぐ上に引き抜く




### 2 本体をゆかに垂直に立てておく



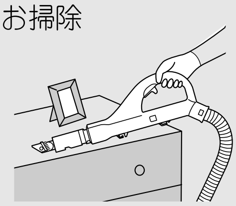

**お願い**
- クルッと切替えブラシを使用するときは、本体をゆかから持ち上げないでください。
- 本体を傾けて使用しないでください。傾けると、クルッと切替えブラシの吸引力は低下します。

### 3 お掃除する場所に応じて伸縮パイプを調節する

- 伸縮パイプの調節のしかたは ➔P.3

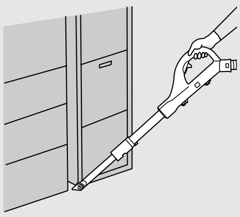
**そのままの長さで**

・机や棚の上などのお掃除

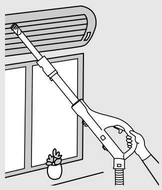


**伸縮パイプを伸ばして**

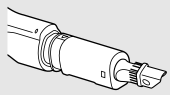
・すき間などのお掃除



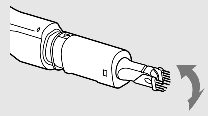
・天井やエアコンのお掃除



**すき間用吸口として**



**ハケブラシとして**

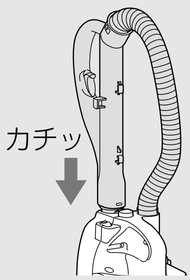


| ⚠注意 | **けが・家具に傷をつけるおそれあり**<br>●本体ハンドルを手でささえてください。本体の転倒を防ぐためです。<br>●ピアノなど特に傷つきやすい場所にはハケブラシを押しつけないでください。傷つきを防ぐためです。 |
|---|---|

### 4 伸縮パイプを差し込む

- クルッと切替えブラシでのお掃除が終わったら、伸縮パイプを縮め、本体のパイプホルダーに「カチッ」と音がするまで差し込む

**お願い**
- 伸縮パイプは確実にパイプホルダーに差し込んでください。パイプホルダーに確実に差し込まれていないと、エアーヘッドからの吸引力は低下します。

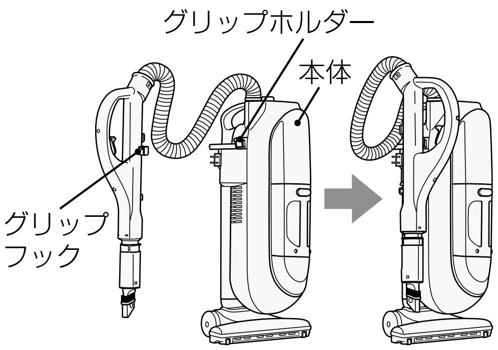



# 収納のしかた

1 電源プラグを持って、コード巻き取りボタンのマーク部(⏻)を押しながら、電源コードを巻き取ってください。➔P.3

| ⚠注意 | **けがをする・家具に傷をつけるおそれあり**<br>●電源プラグを抜くとき・電源コードを巻き取るときは、電源プラグを持ってください。 |
|---|---|

2 部屋のすみなど倒れにくいところへ保管してください。グリップフックを本体のグリップホルダーに引っかけると、押し入れなどの低いスペースにもすっきり収納できます。



# ごみの捨てかた

●サイクロン方式のクリーナーは、「紙パックがいらない」という特長を持っていますが、強い吸込み力でお掃除していただくためには、こまめなごみ捨て、フィルターのお手入れをおすすめします。

**●お掃除が終わったら、ダストケースを取り外し、**
**1「立体フィルター」と 2「クリーンフィルター」のごみを捨ててください。**

●「ごみすてサイン」で、ごみ捨ての目安をお知らせします。→P.11

●ティッシュペーパーを使うと、ごみ捨てがさらに簡単・清潔になりますのでおすすめします。→P.10

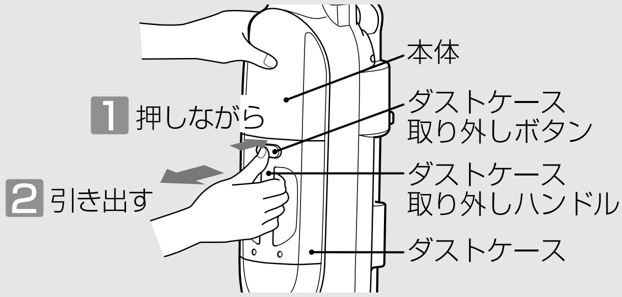
| ⚠ 警告 | **感電・けがのおそれあり**<br>●ごみ捨ての際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。 |
|---|---|

**お願い** ●ごみ捨ての際に細かなほこりが舞い上がることがあります。屋外など、換気のよい環境でごみ捨てをしていただくか、マスクを着用するなどして、ほこりを吸い込まないようにしてください。

## 1「立体フィルター」のごみの捨てかた

### 1 ダストケースを本体から取り外す

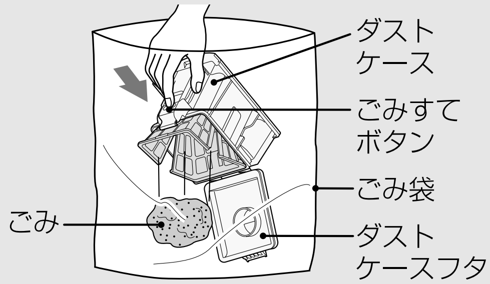
1 ダストケース取り外しハンドルをにぎり、ダストケース取り外しボタンを押しながら、
2 本体を押さえてダストケースを引き出す




**お願い**
●運転中はダストケースを取り外さないでください。
●逆止弁を下に向けないでください。ごみがこぼれます。

### 2 ダストケースを大きめのごみ袋などの中に入れ、「ごみすてボタン」を押す

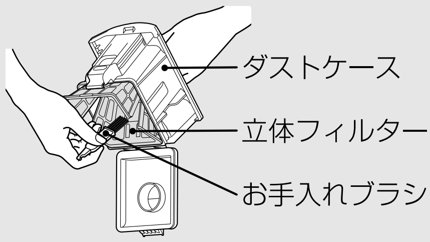
ダストケースフタを下に向けて、「ごみすてボタン」を押し、ごみを捨てる




**お願い**
●ごみが出にくい場合は、ダストケースの側面をたたくなどして振動を加えてください。

### 3 立体フィルターに付着したごみを取り除く

ダストケース側面に収納している「お手入れブラシ」を使ってごみを取り除く




**⚠ 注意**

**けがのおそれあり**
●ガラスの破片や押しピンなど鋭利なものを誤って吸い込んでいる場合があります。けがをしないよう注意して取り除いてください。

**お願い**
●立体フィルターは取り外しできません。交換の際にはお買い上げの販売店にご相談ください。→P.16

### 4 ダストケースフタを閉める

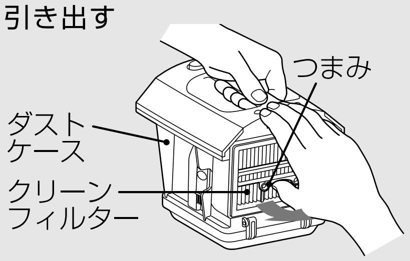


# ごみの捨てかた(続き)

## 2 「クリーンフィルター」のごみの捨てかた

### 1 クリーンフィルターを取り外す

つまみに指を引っかけ、クリーンフィルターをダストケースから矢印の方向に引き出す

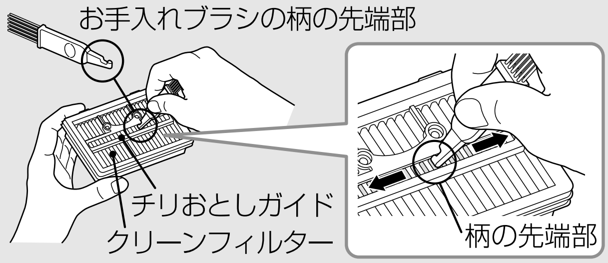



**お願い**

●ごみがこぼれる場合がありますので、ごみ箱の上などで取り外してください。

### 2 クリーンフィルターのチリを落とす

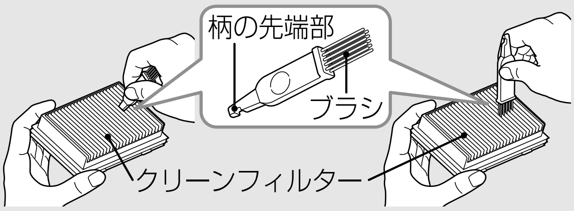
ごみ箱の上などで、お手入れブラシの柄の先端部をクリーンフィルターのひだの先端に押し当てながら、チリおとしガイドにそわせて左右に5往復程度動かす




●これによりクリーンフィルターが振動し、付着したチリがクリーンフィルターから落ちます。

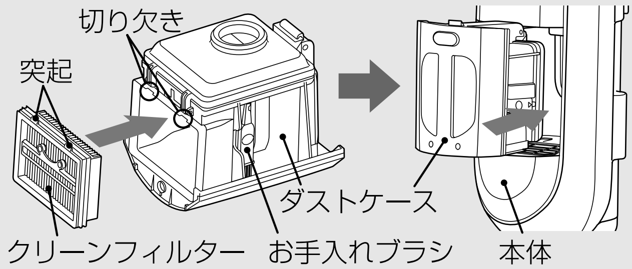
### 3 クリーンフィルターに付着したごみを取り除く

クリーンフィルターのひだを広げて、奥にたまったごみをお手入れブラシで取り除く




### 4 クリーンフィルターをダストケースへ取り付け、ダストケースを本体に取り付ける

クリーンフィルターの突起とダストケースの切り欠きを合わせる




## 3 ティッシュペーパーを取り付ける場合

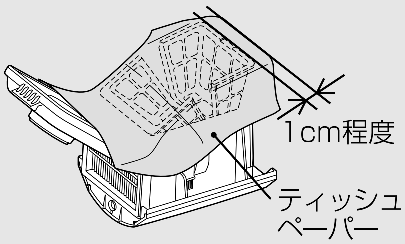
●ティッシュペーパーを使うと、ごみ捨てがさらに簡単・清潔になりますのでおすすめします。
●ティッシュペーパーの種類や取り付け状態によっては、ティッシュペーパーが破れることがありますが異常ではありません。
●ごみ捨て時にティッシュペーパーが破れていても異常ではありません。

**お願い**

●ティッシュペーパーは、一辺の長さが20cm程度以上で2枚重ねのものをご使用ください。
●ぬれたティッシュペーパーは使用しないでください。
●立体フィルターにごみが付着した場合は、付属のお手入れブラシで取り除いてください。

### 1 ティッシュペーパーを広げて、立体フィルターにのせる

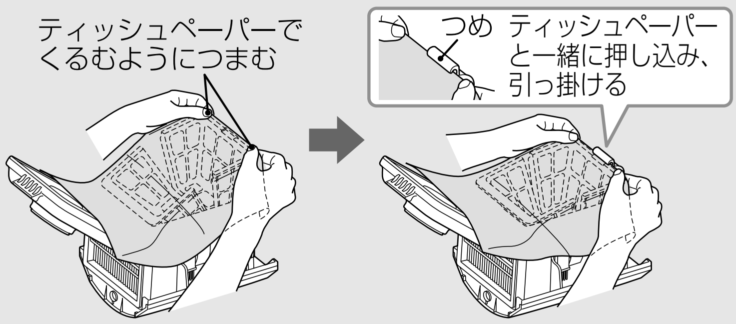
ティッシュペーパーを、立体フィルターの上端から1cm程度はみ出るようにのせる




### 2 ティッシュペーパーの上端を立体フィルターに固定する

1 立体フィルターの上端をティッシュペーパーと一緒につまむ

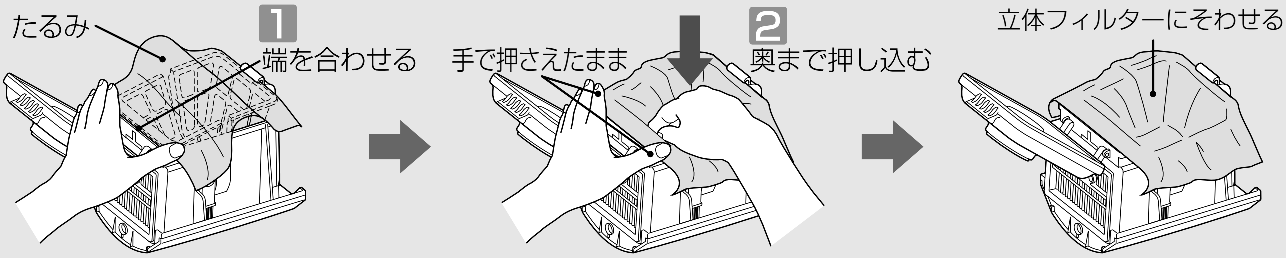
2 立体フィルターを押し込み、ごみすてボタンのつめに引っ掛ける



## 3 ティッシュペーパーを立体フィルターの奥まで押し込む

1 ティッシュペーパーの下端を立体フィルターの下端に合わせる(中央をたるませる)

2 立体フィルターにそわせて、ティッシュペーパーをそっと奥まで押し込む




## 4 ダストケースフタを閉める

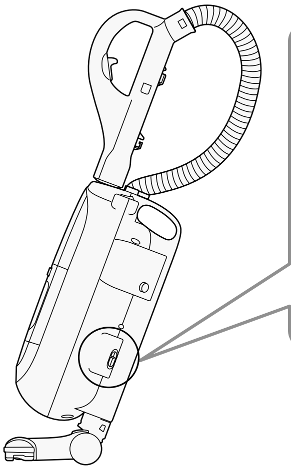


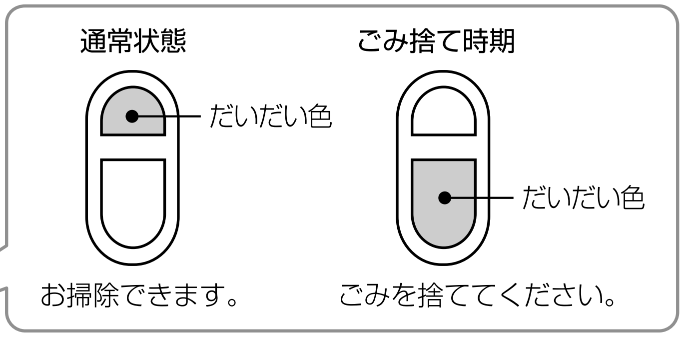

- ●ティッシュペーパーがダストケースからはみ出したままで問題ありません。
- ●ティッシュペーパーを使用した場合、吸込仕事率が10W程度下がります。

## 「ごみすてサイン」について

●ダストケースのごみ捨て時期をお知らせします。

本体を、「エアーヘッドを使ったお掃除 →P.6」の状態で運転中にのみ確認できます。






●本体を立てると、ごみの量に関係なく「ごみすてサイン」は作動します。

### こんなときは…

●細かい砂ごみ、土ぼこりを吸わせたとき
少量のごみでも「ごみすてサイン」が作動することがあります。
このようなときは、ごみ捨て/フィルターのお手入れ(水洗い)をしてください。

●綿ごみなどが多いとき
ごみがいっぱいになっても「ごみすてサイン」が作動しないことがあります。
お掃除が終わったら、「立体フィルター」と「クリーンフィルター」のごみを捨ててください。

●毛足の長いじゅうたんなどで吸込口がふさがれたときや、クルッと切替えブラシをご使用のとき
吸い込み風量が少なくなるため、ごみの量に関係なく「ごみすてサイン」が作動することがありますが、そのままご使用いただけます。

●ティッシュペーパーを取り付けたとき
通常より早く「ごみすてサイン」が作動することがあります。
このようなときは、ごみ捨て/フィルターのお手入れ(水洗い)をしてください。

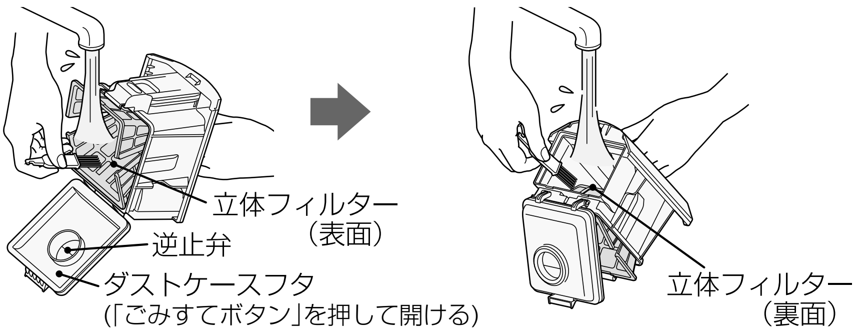
# 吸込力が弱くなったら

●ごみを捨てても「吸込力が回復しない」場合や、「ごみすてサインが作動してしまう」場合、各フィルターを水洗いし、十分に自然乾燥させてください。乾燥には約24時間必要です。
(乾燥時間は、環境や季節によって異なります)

## 立体フィルター（表面、裏面）

●ダストケースフタを開けて表側を水洗いしてください。

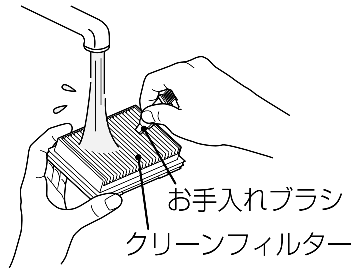
●クリーンフィルターを外して裏側も水洗いしてください。




お願い
●立体フィルターを強く押して洗わないでください。
破損の原因となります。
●逆止弁を引っ張らないでください。
破損の原因となります。

## クリーンフィルター

●ひだを広げて奥にたまったごみを、お手入れブラシの柄の先端でかき出して洗い流してください。




## ⚠注意

**けがのおそれあり**

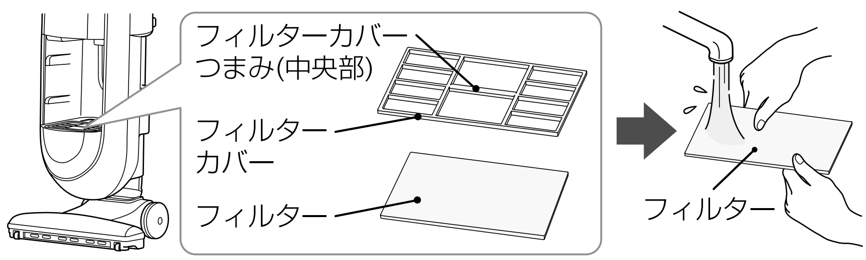
●ガラスの破片や押しピンなど鋭利なものを誤って吸い込んでいる場合があります。
けがをしないよう注意して取り除いてください。

## フィルター

1 フィルターカバーつまみを持ってフィルターカバーを取り外す

2 フィルターを取り出す

3 水で軽く押し洗いし、たたいて水気を切り、自然乾燥させる




お願い
●ベンジン、シンナー、アルコール、洗剤、漂白剤などを使用したり、洗濯機で洗ったりしないでください。また、ドライヤーなどの熱風で乾燥させないでください。
性能の低下や変形の原因となります。
●付着しているごみやほこりは、軽く落としてから水洗いしてください。
●付属のお手入れブラシ以外のブラシは使用しないでください。
破損の原因となります。
●ダストケースおよび各フィルターは、取り付けて運転してください。
モーターにごみが入り、故障の原因となります。
●各フィルターを水洗いしても吸込力が弱い場合は、フィルターの劣化が考えられます。
各フィルターの取り替えをご希望される場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。→P.16

# お手入れのしかた

**⚠警告** **感電・けがのおそれあり**
●お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

## 本体・標準付属品・付属応用部品

●汚れが気になるときは、水を含ませたやわらかい布をよく絞ってからふいてください。

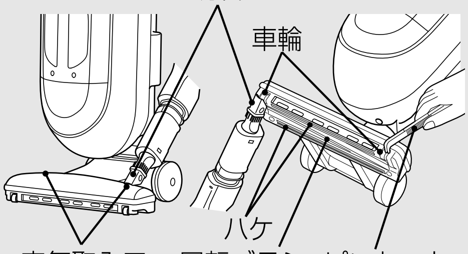
**お願い** ●ベンジン、シンナー、アルコール、洗剤などは使用しないでください。
変色、変形などの原因となります。

## エアーヘッド

●吸込力が弱くなったり、汚れが気になるときはお手入れしてください。(水洗いできるのは回転ブラシのみです)
●定期的なお手入れ(月1回程度)をおすすめします。

### 1 クルッと切替えブラシでごみを吸い取る

●空気取入口、回転ブラシ、ハケ(赤色、緑色)、車輪にごみが付着していると、吸込力低下の原因となります。そのようなときは、エアーヘッドを本体に接続したまま、クルッと切替えブラシでごみを吸い取ってください。
●車輪の軸に絡みついた糸くずなどは、つまようじやピンセットなどで取り除いてください。




**⚠注意**
**ゆか面に傷をつけるおそれあり**
●車輪にごみが絡みつくと、車輪が磨耗する原因となります。
●車輪が磨耗しているときは、お早めにお買い上げの販売店にご相談ください。➔P.16

### 2 回転ブラシを取り外して、ごみを取り除く

1 エアーヘッドを裏返して、コインなどでネジ溝を「ひらく」に合わせる
2 ブラシホルダーを外す
3 回転ブラシを取り外す




●回転ブラシに絡みついた糸くずなどは、ハサミで取り除いてください。

### 3 回転ブラシを水洗いする

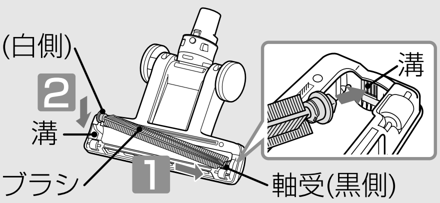
1 汚れがひどい場合には、回転ブラシを水洗いする
2 回転ブラシを乾いた布ではさむようにして水気を切る
3 回転ブラシを陰干しにして、十分に乾燥させる




**お願い** ●ドライヤー、暖房機具などで乾燥させないでください。
●ベンジン、シンナー、アルコール、洗剤などは使用しないでください。また、毛のかたいブラシで洗わないでください。

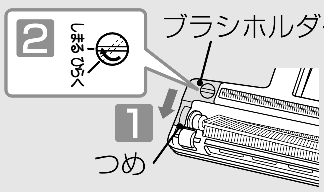
### 4 回転ブラシが十分に乾燥していることを確認してから、回転ブラシを元どおりエアーヘッドに取り付ける

●エアーヘッドを裏返して、
1 軸受(黒側)を入れてから、
2 軸受(白側)を溝に入れます。
●軸受に注油しないでください。




### 5 ブラシホルダーを閉める

1 ブラシホルダーのつめを引っ掛けて閉める
2 コインなどでネジ溝を「しまる」に合わせる



# 故障かなと思ったら

**修理を依頼される前に**
次の点をもう一度お調べください

## 本体が運転できない

保護装置が働いている場合があります。次の直しかたにより保護装置を解除してください。




### 保護装置と原因

ダストケースがごみでいっぱいか、またはフィルターにごみが付着したままお使いになると、モーターの過熱防止のため保護装置が働いて、本体の運転が自動的に停止します。

- フィルターのごみ詰まり
- 吸込口をふさいだままの運転
- ホース・伸縮パイプのごみ詰まり

### 直しかた

「切」スイッチを押し、電源プラグをコンセントから抜く

↓

- ごみ捨て/フィルターのお手入れ(水洗い)をする →P.9～12
- 吸込口をふさいでいるものを取り除く
- ホース・伸縮パイプに詰まったごみを取り除く

↓

**約60分後に保護装置が解除され、再びご使用いただけます。**

## ■その他の症状

| 症状 | 確認するところ | 直しかた | ページ |
|---|---|---|---|
| 吸込力が弱い(エアーヘッドでゆかなどのお掃除時) | (1)ダストケースのごみがいっぱいになっていませんか。 | (1)ごみを捨ててください。 | P.9 P.10 |
| | (2)フィルターにごみが付着していませんか。 | (2)各フィルターのお手入れをしてください。 | P.12 |
| | (3)エアーヘッドにごみが詰まっていませんか。 | (3)ごみを取り除いてください。 | P.13 |
| | (4)モーター保護用吸気口から風を吸い込む大きな音がしていませんか。(ごみすてサインが作動していませんか。) | (4)フィルターの目詰まりにより、モーター保護用弁が動作しているためで異常ではありません。 | P.12 |
| | (5)本体を立てたままで使用していませんか。 | (5)本体を傾けてご使用ください。 | P.6 |
| 吸込力が弱い(クルッと切替えブラシですき間などのお掃除時) | (1)エアーヘッドが持ち上がっていませんか。 | (1)エアーヘッドをゆか面に垂直にして、吸込口をふさいでご使用ください。 | P.8 |
| | (2)本体を傾けて使用していませんか。 | (2)本体をゆか面に垂直に立ててご使用ください。 | P.8 |
| ごみが少ないのに吸込力が弱い | フィルターにごみが付着していませんか。 | 各フィルターのお手入れをしてください。 | P.12 |
| モーターが回らない | 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。 | 電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。 | P.6 |
| エアーヘッドの回転ブラシが回転しないまたは回転しにくい | (1)回転ブラシ、軸受にごみが絡みついていませんか。 | (1)ごみを取り除いてください。 | P.13 |
| | (2)パイプホルダーに伸縮パイプが確実に差し込まれていますか。 | (2)伸縮パイプをパイプホルダーに確実に差し込んでください。 | P.8 |
| | (3)ダストケース、各フィルターにごみが詰まっていませんか。 | (3)各フィルターを水洗いし、ごみを取り除いてください。 | P.12 |
| | (4)エアーヘッドがゆか面から浮いていませんか。 | (4)ゆか面から浮かせると遅くなる構造になっています | P.7 |
| 排気や本体があたたかくなる(特に夏場) | 空気の流れでモーターを冷却しているためで、多少あたたかくなるのは異常ではありません。 | | – |
| 排気から異臭が出る | (1)フィルターにごみが付着していませんか。 | (1)各フィルターのお手入れをしてください。 | P.12 |
| | (2)水洗い後のフィルターの乾燥が不十分ではないですか。 | (2)水洗い後は、十分に自然乾燥させてください。 | P.12 |
| 電源コード引き出し口などから風が出る | 空気の流れで電気部品を冷却しているためで、異常ではありません。 | | – |
| 電源コードが全部入らない、または引き出せない | 電源コードが片寄って巻き込まれたり、よじれたりしていることがあります。電源コード巻き取りボタンを押しながら、電源コードを「巻き取る」「引き出す」動作を数回繰り返してください。そのあと、電源コードを黄印まで引き出してよじれを直してから、もう一度ゆっくり巻き込んでください。 | | P.3 |

**確認してもまだ異常がある場合** ▶ ご自分で修理をなさらないで、お買い上げの販売店へご相談ください。 P.16

# アフターサービスと保証

## 使用中に異常が生じたときは

**「故障かなと思ったら」** **➔P.14、15** **をご確認のあと、それでも故障と思われる場合には、ご自分で修理をなさらないでお買い上げの販売店にご相談ください。**

- 修理を依頼されるため、掃除機を販売店にお持ちの際は、標準付属品(エアーヘッド)もご一緒にお持ちください。

**お知らせいただきたい内容**
1 **型式**－PV-SP3
2 **症状**－できるだけ詳しく

## 一般家庭用以外でご使用になるとき

- 共同(寮など)でご使用になるなど、一日の使用時間が一般家庭に比べて極端に長い場合には、短時間で部品の交換(パワーヘッドなど)が必要になることがあります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、定期的な点検をなさってご使用になることをおすすめします。
- このような場合は、保証期間中でも有料になることがあります。

**※この掃除機は家庭用です**

## 転居される場合

- ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。
- 電源周波数の異なる地区へのご転居に際しても、部品の交換は不要です。

## 部品の保有期間について

この掃除機の補修用性能部品の保有期間は、**製造打ち切り後6年**です。
補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

## 愛情点検

★長年ご使用の掃除機の点検を

| | | | |
|---|---|---|---|
| **ご使用の際、このような症状はありませんか？** | ●スイッチを押しても、運転しない<br>●電源プラグやコードを動かすと、通電したりしなかったりする<br>●運転中、時々止まる<br>●運転中、異常な音がする<br>●本体が変形したり、異常に熱い<br>●ホースが破れている<br>●こげくさい“におい”がする<br>●その他の異常がある | **ご使用 中止** | 事故防止のため、すぐにスイッチを切り、電源プラグを抜いて、販売店へ点検・修理を依頼してください。 |

### 日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

ホームページに「よくあるご質問」について記載しておりますので、ご活用ください。
http://kadenfan.hitachi.co.jp/q_a/index.html

修理などアフターサービスに関するご相談は
エコーセンターへ
**TEL 0120-3121-68**
**FAX 0120-3121-87**
(受付時間) 9:00～19:00 (365日)
携帯電話、PHSからもご利用できます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
お客様相談センターへ
**TEL 0120-3121-11**
**FAX 0120-3121-34**
(受付時間) 9:00～17:30(月～土)、9:00～17:00(日･祝日)
年末年始は休ませていただきます。
携帯電話、PHSからもご利用できます。

## 保証について

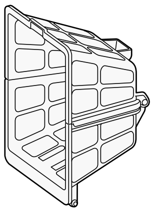
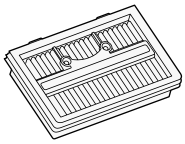
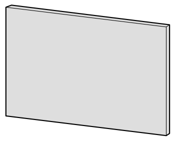
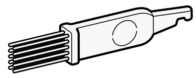
- **この商品は保証書付きです。**
  保証書は販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますから、記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

| | |
|---|---|
| **保証期間** | **お買い上げ日から1年間です。** (保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください) |
| **保証期間中は** | 修理に際しましては、保証書をご提示ください。<br>保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。 |
| **保証期間が過ぎているときは** | 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。 |

- 「持込修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録(録音など)させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

# 別売り部品

日立の家電品取扱店でお求めください。
価格は、2010年2月現在の消費税率を基に総額表示を行っています。

| ●立体フィルター | ●クリーンフィルター | ●フィルター | ●お手入れブラシ |
|---|---|---|---|
| <br>サービスパーツ<br>PV-SK1-003<br>立体フィルター<br>とご指定ください<br><br>希望小売価格<br>1,470円(税抜 1,400円) | <br>サービスパーツ<br>PV-SP3-001<br>クリーンフィルター<br>とご指定ください<br><br>希望小売価格<br>1,470円(税抜 1,400円) | <br>サービスパーツ<br>PV-SKX1E4-001<br>フィルター<br>とご指定ください<br><br>希望小売価格<br>630円(税抜 600円) | <br>サービスパーツ<br>PV-SK1-004<br>お手入れブラシ<br>とご指定ください<br><br>希望小売価格<br>315円(税抜 300円) |

●上記希望小売価格は、価格改正に伴い変更する場合があります。

# 仕様

<table>
<tr><td>電源</td><td>100V　50-60Hz共用</td><td>質量</td><td>4.0kg(標準付属品を含む)</td></tr>
<tr><td>消費電力</td><td>950W</td><td rowspan="3">本体寸法</td><td rowspan="3">(使用時)<br>長さ290mm×幅250mm×高さ885~1065mm<br>(収納時)<br>長さ220mm×幅250mm×高さ590mm</td></tr>
<tr><td>吸込仕事率</td><td>340W</td></tr>
<tr><td>運転音</td><td>68dB</td></tr>
<tr><td>集じん容積</td><td>0.5L</td><td>標準付属品</td><td>エアーヘッド…………………………1個</td></tr>
<tr><td>コードの長さ</td><td>5m</td><td>付属応用部品</td><td>お手入れブラシ………………………1個</td></tr>
</table>

# MEMO

# 日立掃除機 保証書　持込修理

この保証書は取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合に、本書に記載されている内容に基づき、無料修理をお約束するものです。無料修理をご依頼になる場合は、お買い上げの販売店に商品と本書をご持参ご提示ください。

<table>
<tr><td rowspan="2">形名</td><td rowspan="2">PV-SP3</td><td>※お買い上げ日</td><td>保証期間</td></tr>
<tr><td>平成　年　月　日</td><td>本体：1年</td></tr>
<tr><td>※お客様</td><td colspan="3">ご住所<br>お名前　　様<br>電話　（　）</td></tr>
<tr><td>※販売店</td><td colspan="3">ご住所<br>お名前　　様<br>電話　（　）</td></tr>
</table>

※印欄に記入のない場合は無効となりますから、記入の有無をご確認ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
(イ)使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
(ロ)お買い上げ後の落下、輸送等による故障または損傷。
(ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
(ニ)車両、船舶にとう載して使用された場合に生じた故障または損傷。
(ホ)業務用に使用されて生じた故障または損傷。
(ヘ)本書のご提示がない場合。
(ト)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
2. この商品は持込修理の対象商品です。郵送などで修理依頼された場合の送料などはお客様の負担となります。また、出張修理をご希望の場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合にはご相談窓口 ➔P.16 にご相談ください。
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはご相談窓口 ➔P.16 にお問い合わせください。
- お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
- 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、「アフターサービスと保証」 ➔P.16 をご覧ください。

修理メモ

日立アプライアンス株式会社

〒105-8410　東京都港区西新橋2-15-12
電話（03)3502-2111